

平成 21 年 5 月 15 日現在

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2006～2009

課題番号：18520630

研究課題名（和文）ディスコース分析とプラクティス分析から見る中国的全体主義下の個人と人民

研究課題名（英文）The individual and the people under the Chinese totalitarianism through the discourse and practice analysis

研究代表者 聶莉莉（NIE LILI）
東京女子大学・現代文化学部・教授
研究者番号：00258493

研究分野：文化人類学

科研費の分科・細目：文化人類学、文化人類学・民俗学

キーワード：ディスコース分析, 全体主義, 社会統合, 革命, 個人

1. 研究計画の概要

本研究は、文化人類学や政治思想史、知識社会学などの研究手法を用いて、ディスコースとプラクティスの両方から、中国社会主义革命の実践における中国的全体主義の特徴、特にその社会統合の仕組みを究明するものである。

2. 研究の進捗状況

大衆を動員するうえ全国範囲で行われた政治運動において反革命の勢力として排除された知識人と、民衆の手本として樹立された模範人物の両方に対して、分析を行ってきた。関連する先行研究の検討、現地での資料収集、関連する人物の聞き取り調査などを主な研究方法としてきた。

3. 現在までの達成度

おおむね順調に進んでいる

だいたい計画通りに進んできた。

上記2のような研究活動を通して、社会主義イデオロギーや政治運動における革命と反革命、社会主義と資本主義、プロレタリアとブルジョア、前進と後退、赤と黒など絶対的に対立する二元論の世界観、批判大会、壁新聞などの大衆動員の仕方、社会主義の公という名目のもとでの独立する個人に対する極端な排除など、中国的全体主義の仕組みをおよそ把握した。

4. 今後の研究の推進方策

研究計画の方向に沿って、下記の課題をめぐってさらに研究を深めていく。

- (1) 「反胡風反革命集団」運動と反右派運動を引き続き分析し、そこに現れているブ

ロレタリア独裁、階級闘争史観及び政治権力の膨張を分析する。

- (2) 知識人の中国社会理解及びその社会認識論と共産党政権のそれとの差異を分析し、政治権力の政治的他者に対する批判と排除の手段を提示する。
- (3) 社会主義イデオロギーによる、農民、労働者、兵士及び青年学生に対する政治的浄化と、政治権力の彼らに対する徹底した、マルクス主義の唯物史観や階級闘争理論と中国社会に関する解釈、共産主義人生観などを内容とする政治教育を分析し、「人民」の一分子としての個人の地位と内面を理解する。

5. 代表的な研究成果

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計1件）

聶莉莉「人民に奉仕する英雄 全体主義下の個人と「人民」」『民博通信』2006.No.114:06～07頁、国立民族学博物館、2006年。査読無。

〔学会発表〕（計1件）

聶莉莉「模範人物雷鋒に関する研究の現状」『日中学者による雷鋒研究フォーラム』、遼寧石油化工大学、2007年9月5日。

〔図書〕（計0件）

〔産業財産権〕
出願状況（計0件）

取得状況（計0件）

〔その他〕